

令和元年度  
(2019年度)

# 総合教育部の運営方針

<部の構成>

教育政策課、まなび舎整備室、学校規模調整課、おいしい給食課  
<担当事務>

- (1)教育に関する事務の執行状況の点検・評価に関すること。
- (2)教育委員会の会議に関すること。
- (3)学校園及び学校給食共同調理場に係る施設の新設並びに改良工事の計画及び調整に関すること。
- (4)学校園等施設的环境整備に関すること。
- (5)学校規模等適正化の推進に関すること。
- (6)学校園関連用地の管理に関すること。
- (7)学校給食に関すること。

<部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	143名
再任用職員	10名
任期付職員	2名
非常勤職員	232名
合計	387名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

総合教育部では、「子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら、安全に安心して学校での生活が送れるよう学びのセーフティネットを構築するとともに、教育環境を充実させます」という方針のもと、学校園の安全対策、ICT機器や教材及び学校園環境の整備、学校規模の適正化、おいしい給食の提供など、市民の皆さんが「枚方市の学校に通いたい、通わせたい」と思っただけのように、これからも枚方市の教育環境の充実を図ってまいります。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 学校園の安全対策

方向性	学校園の安全対策について、これまでの取り組みを継続するとともに、効果的・効率的な手法の検討を進めます。
取り組み	カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用や、保護者・地域住民の協力による立哨により校門での安全監視を行っていますが、今後は効果的・効率的な手法を検討しながら児童の安全確保を図ります。 《目標値》 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数：0件 (前年度実績：0件) 平成31年度当初予算：32,424千円

### (2) 小・中学校におけるICT機器等の整備

方向性	ICTの活用による新しい学校教育の確立をめざすため、児童・生徒及び教員1人1台のタブレット型コンピュータ配備をはじめとしたICTの環境整備を進めます。
取り組み	小・中学校におけるICT整備については、第四中学校で実施する「未来学習研究事

	業」等で検証しながら、本年度中に「(仮称) 枚方市学校教育情報化推進計画」を策定します。既に整備済みの ICT も活用して中学校から段階的に国基準（3 学級に 1 学級分）以上の整備促進を図ります。 <目標値> 児童・生徒の一人あたりの教育用パソコンの台数：5.6 人に 1 台 （前年度実績：8.3 人に 1 台）
	平成 31 年度当初予算：164,264 千円

<b>(3) 公立幼稚園における 3 歳児保育と子育て支援策の充実</b>	
<b>方向性</b>	平成30年11月に策定した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」に基づき、公立幼稚園では、3歳児保育を実施するとともに長時間の預かり保育など子育て支援策の充実を図ります。
<b>取り組み</b>	少子化が進む一方で、依然として保育需要が増加傾向にある中で、公立幼稚園では、3歳児保育、長時間の預かり保育と1・2歳児の小規模保育を組み合わせた「枚方版子ども園」など子育て支援に取り組むとともに、令和元年（2019年）10月から実施予定の幼児教育無償化への対応を行います。また、蹉跎西幼稚園については、令和2年度（2020年度）末に閉園とし、生み出された財源については、保育需要等の動向を踏まえながら子育て施策の充実に活用していきます。 <目標値> ・学校教育自己診断における3歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：80%以上 ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：80%以上

<b>(4) 枚方市学校施設整備計画の実施・計画の策定</b>	
<b>方向性</b>	「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（前期）平成27～平成32年度）」に基づき「枚方市市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」等と整合を図りながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。 令和3年度（2021年度）から実施予定の「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）令和3（2021）～8（2026）年度）」については、市有建築物保全計画及びトイレ改善事業をより効率的に実施するために、一元化した計画を策定します。
<b>取り組み</b>	設計業務：第1期実施計画（前期）分について完了 仮設校舎建設：津田中 請負工事：香里小（平成30年度～令和2年度（2020年度）） 第一中（平成30年度～令和元年度（2019年度）） 津田中（平成31年度～令和2年度（2020年度）） 「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）令和3（2021）～8（2026）年度）」の策定

	≪目標値≫ 今年度の計画達成割合：66.9%（前年度実績割合 25%） 平成 31 年度当初予算：1,854,169 千円
--	---------------------------------------------------------------------

<b>（５）学校トイレ改善事業</b>	
<b>方向性</b>	<p>児童・生徒が安心して学校生活が送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置等、「枚方市学校施設整備計画」や「枚方市市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。</p> <p>また、改修工事等の「ハード面」において、快適になったトイレを継続して維持する為に、「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>令和元年度（2019年度）事業</p> <p>○管理棟：小学校 6 校（田口山小、西牧野小、川越小、サダ東小、サダ西小、桜丘北小）            中学校 2 校（東香里中、楠葉西中）</p> <p>○教室棟：小学校 1 校（津田南小）</p> <p>≪目標値≫</p> <p>各棟 1 系列のトイレ改造工事を行います。</p> <p>平成 31 年度当初予算：400,000 千円</p>

<b>（６）学校規模等適正化推進事業</b>	
<b>方向性</b>	<p>教育環境向上のため、将来の児童・生徒数を見据え、「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、学校規模の適正化に向けて具体的な取り組みを進めます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>高陵小学校と中宮北小学校の学校統合について、保護者や地域等の理解と協力を得ながら、「枚方市学校規模等適正化実施プラン」の作成を進めます。また、その他の学校におきましても、学校規模の適正化に向けての取り組みを進めます。</p>

<b>（７）学校運営に係る事業の再構築</b>	
<b>方向性</b>	<p>学校運営に係るすべての業務を総合的に捉え、より円滑で効果的な取り組みとなるよう民間活力の活用も含め、その方向性について検討を進め、学びの環境の充実を図ります。</p>
<b>取り組み</b>	<p>学校施設の環境整備（校務業務）、留守家庭児童会室運営業務や学校給食単独調理場運営業務など学校運営に係るすべての業務について、対象となる業務の選択や精査を行いながら、その方向性について検討を行います。</p> <p>≪目標値≫</p> <p>令和元年（2019年）9月 学校運営に係る基本的な考え方（方針）を作成            令和 2 年（2020年）3月 上記方針に基づく計画を策定</p>

<b>(8) 学校給食の充実</b>	
<b>方向性</b>	<p>「おいしさ・品質日本一」を目標に掲げ、子どもたちが「枚方の給食を食べたい」と思うおいしい給食の提供をめざします。</p> <p>中学校給食について、全員喫食の実現に向けて取り組みを進めます。また、小学校給食について、老朽化が進む小学校給食調理場について、効率的・効果的な整備を図ります。</p>
<b>取り組み</b>	<p>中学校給食について、更なる喫食率向上を図るため、魅力向上、利便性の向上、情報発信を3本柱に、各学校や保護者と連携した取り組みを進めます。全員喫食の実現に向けては、より詳細な事業費の算定及び精査を進め、財源確保という課題もあることから教育施策の優先順位も考慮しながら、計画策定に向けて取り組みを進めます。</p> <p>また、学校給食を安定的に提供できるよう、第三学校給食共同調理場の老朽化対策や香里小学校単独調理場の長寿命化改修に引き続き取り組むとともに、老朽化の進む単独調理場の対策について検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>中学校給食の喫食率：50.0%（前年度平均喫食率32.7%）</p> <p>平成31年度当初予算：1,006,792千円</p>

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業について、令和2年(2020年)4月からの事業統合に向け、施設使用の申請手続きを統一するなど合理化を図り、使用料金の徴収を実施できるよう取り組みます。
34. 学校規模等の適正化	「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合について、保護者や地域等の理解と協力を得ながら、「枚方市学校規模等適正化実施プラン」の作成を進めます。また、樟葉小学校の過密校化解消に向けての取り組みを進めます。
35. 市立幼稚園の効率的・効果的な配置	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランに基づき、平成31年度より市立幼稚園3歳児保育・長時間の預かり保育を実施するとともに、4園では1・2歳児の小規模保育と連携した「枚方版子ども園」をスタートさせます。また、令和2年度末(2021年3月)に市立蹉跎西幼稚園を閉園します。
45. 技能労務職員の適正	学校施設の環境整備(校務業務)、留守家庭児童会室運営業務や学

配置に向けた取り組み (環境整備業務・学校園 校務業務・学校給食調理 業務)	校給食単独調理場運営業務など学校運営に係るすべての業務について、対象となる業務の選択や精査を行いながら、今年度中に学校運営に係る基本的な考え方(方針)を作成し実施計画を策定します。
-------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
教育委員会における会議の改善	教育委員会定例会・協議会等の運営の改善や、タブレット端末を使用したペーパーレス会議を推進し、会議運営の効率化に取り組みます。
光熱水費の削減に向けたエネルギー調達	電力・都市ガスの自由化を受け、小・中学校及び学校給食共同調理場における電力調達会社との契約については、施設ごとの電気使用量実績に基づいて有利な契約条件となる会社の選定を契約課に依頼しています。 令和元年度(2019年度)は、都市ガス調達についても、同様の取り組みを始めるものです。
業務の効率化	部内における業務の所管の適正化を行うとともに、円滑な事務執行に向けて業務内容についてマニュアル化を進め、効果的・効率的な事務執行に努め、時間外勤務の削減を図ります。

## 4. 予算編成・執行

- ◆平成30年度に引き続き、市立小中学校全64校の電力調達について、特定規模電気事業者(PPS)等を活用し経費の節減を図ります。
- ◆学校園施設の改修にあたり、平成30年度に引き続き、国の学校施設環境改善交付金や大阪府補助金等の活用を図ります。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆総合教育部として、教育委員会施策の取りまとめを行い、教育施策を推進するために市長部局と調整、相互連携を図り効率的・効果的な組織運営に努めます。
- ◆学習環境のさらなる向上を図るため、先進市視察や企業が行う専門研修等に参加することにより、外部の知見を活用した人材の育成を図ります。
- ◆調理業務の応援体制の確保とともに、調理技術の継承やドライ運用の普及、調理作業手順書や衛生管理マニュアルに基づく運用を進めるための助言指導等を図り、より一層「おいしい給食」を提供する観点から、引き続き、単独調理場巡回応援職員を配置します。

## 6. 広報・情報発信

### ◆教育委員会、部の取り組みに関する魅力発信

教育委員会や総合教育部の特徴的な取り組みについて、広報ひらかたやホームページへの掲載だけではなく、メール配信や SNS の活用など、保護者、市民個人の ICT 端末に直接情報を届ける形での魅力発信にも取り組みます。

### ◆中学校給食の取り組みの情報発信

中学校給食の認知度アップのためのイメージ戦略として、おいしい給食課のロゴキャラクター（ごはんちゃん）を、ホームページや様々な印刷物において活用します。

中学校給食について献立の特長や食物アレルギー情報、最新のトピックス等の情報を発信していくため、毎月の献立表をカラー写真入りで印刷し全生徒に配付します。また、中学校給食のプロモーションビデオについて、保護者説明会や試食会での視聴に活用する等、中学校給食の PR に努めます。